

ワイワイ教育プラザ

子育て問答集

「兄弟姉妹・集団生活」

子育てで直面する様々な悩み……。

初めての子はもちろんのこと、兄弟姉妹であっても、子どもは一人一人違うだけに、悩みも様々です。

このコーナーは、幼稚園・保育園で数多くの子どもたちの面倒を見てきたベテラン教師たちが「よくある悩みへの回答集」という形でまとめました。



目 次

兄弟げんかばかりして悩んでいます	3
お兄ちゃんの行動が気になります	4
なかなか友達と遊べない.....	5
どうして友達を噛んでしまうのでしょうか	6
喜んで通っていた保育園を嫌がるようになってしまいました	7
幼稚園でも落ち着きません	8
幼稚園での様子が信じられません	9
幼稚園にいくと乱暴になって困っています	10
家ではおとなしいのに保育園で友達に乱暴ばかりしています	11
もうすぐ幼稚園です。内弁慶なので登園拒否しないか心配です	12
一日中泣いて、園になかなか慣れません	13
幼稚園で集団に入れないのですが	14
友達がいじめるから幼稚園に行きたくない	15
どんな幼稚園がいいの?	16
友達がほしいためか乱暴な態度をとってしまいます.....	17

Question

兄弟げんかばかりして悩んでいます

3歳の男の子と2歳の女の子ですが、年子のせいか、何でも同じことをしたり、「お兄ちゃんでしょ」と言っても聞いてくれず、毎日けんかばかりしています。最近はず育てに自信がなくなっていました。

Answer

年子のお兄ちゃんにしてみれば、わずか1年余りで下の子の誕生は大事件です。これまで両親の愛情を独り占めしてきたのに、突然赤ちゃんが産まれたのですから、大変なのはお母さんだけではなく、上の子も戸惑っているのです。お母さんに見てみれば、二人になると、苦労は2倍ではなく3倍にも4倍にも感じることでしょね。

年が離れていないので“お兄ちゃん”を要求するのは、全く無理な話で、叱ってばかりいると子どもにはいろいろな反応が生じます。「お兄ちゃんでしょ」ということは少し慎み、「さすがお兄ちゃんだねー」と言う言葉かけの方が思いやりの気持ちが育つと思います。

また、赤ちゃんのようにになりたいという要求もあるので、下の子と同じようにやってもらいたいという気持ちもあるのです。両方同じようにしてあげるなどお母さんの演技もたまにはいいと思います。

怒ってばかりいるお母さんは嫌いです

年中けんかしているのは、仲のよい証拠。昔から寄ると触ると言われてきました。ですから子どもは二人になるとけんかはつきものと覚悟することです。いつも二人で遊んでいるのですから、ぶつかるのは当然です。多くは上の子どもに対して「大きいのに悪い子ねえ」とレッテルを貼ってしまいがちです。お母さんが見ていないときに下の子がちょっかいを仕掛けたことが少なくないからです。それを見ていないで上の子を謝らせるようなことがあれば当然上の子に不満が残ります。

親が介入しなければならない場合というのは、
 一方的ないじめになっている場合
 危険を感じる時
 二人が自分たちでけんかをやめられない時
 などです。

そういう場合には「○○ちゃんもしたかったんだよねえ」と、お互いを認めてあげられるようになったらいいですね。また、お母さんの心にゆとりがないと、けんかがうっとうしく感じる場合があります。そのように感じた時は「この子だって必死なんだ」と思い直してください。そして、兄弟はけんかを繰り返しながら、思いやりの気持ちも育って行くのです。あまり悩まないで、切り換えていきましょう。(藤倉)

Question

お兄ちゃんの行動が気になります

4歳5ヶ月の兄と2歳の妹がいますが、ちょっとしたことで妹を突き倒したり、叩いたりします。また、妹が遊んでいたものを急に乱暴に取り上げたりすることがあります。このような人間関係がずっと続いたら困ると思うのですが。

Answer

お兄ちゃんは、妹が生まれるまでいつも自分をみてくれたお母さんを妹にとられてしまったような淋しさもあるのでしょう。また、「自分はお兄ちゃんだ」という気持ちが育ってきているので、我慢することも多々あると思います。そのストレスがそのような行動に出たりします。母親に注意されることで、自分の方に目をむけてくれたという満足もなきにしもあらずです。

お兄ちゃんのことを見てあげて

「何回言ったらわかるの?」という苛立ちの感情で叱るのではなく、子どもの気持ちを受け止めて対応してあげてほしいと思います。ちょうど同年齢のお孫さんのいるおばあちゃんからよく似たお話をうかがったので特別な例ではないのです。

お兄ちゃんのいいところに気付く

ある日、おばあちゃんが孫のいる娘の家を訪ねると、4歳の兄は、風呂から上がっていました。母親と妹はまだ風呂に入っていました。おばあちゃんが一人で遊んでいたお兄ちゃんに声をかけると、しばらくしてから「ねえ、おばあちゃん、僕のことちょっとおんぶしてくれる?」というので「ああ、いいよ、よしよ、よしよ」と言って、いかにも重そうに歩きだすと「おばあちゃん、だいじょうぶ? 僕大きくなったら、おばあちゃんのことおんぶしてあげるよ」と言ったそうです。



おばあちゃんは、「なんて優しい子なんだろう」と感激をしたということです。日頃、「わからずやの乱暴な子」という母親の言葉が信じられなかったそうです。

お兄ちゃんは愛されているという気持ちを育てましょう

お兄ちゃんの気持ちを受け止めながらいけない行為をしたときには、そのことの意味や、なぜいけないのかを分かるように話して繰り返し注意して行きましょう。

そして、兄妹がそれぞれ一番愛されているという満足感をもつように接してあげるといいと思います。僕の妹、私のお兄ちゃんという関係が分かる時がくるのです。おばあちゃんや家族の温かい愛情に包まれて幸せだなという気持ちを育てて行きたいと思います。(小倉)

Question

なかなか友達と遊べない

4歳の男の子の一人っ子です。幼稚園や公園では友達がそばにいるのに、いつも一人で遊んでいて、友達と一緒に遊びません。家に友達が遊びにきても、いつの間にか一人で遊んでいます。何か問題があるのか心配です。

Answer

大切な一人遊び



一人でもじっくり自分の遊びを楽しんでいるのならまったく心配はありません。

お子さんはまだまだ一人遊びを十分に楽しみたい時期なのだと思います。幼児は、一人遊びから友達と同じ場で同じような遊びをする平行遊びなど経験してから友達と一緒に遊びを楽しむようになります。発達の様子は一人一人性格や家庭環境、今までの生活経験等によって違います。「もう4歳になったのだから、友達と遊べなくてはおかしい」と考えるのは危険です。自分のやりたいことがあり、そのことにじっくり取り組めることはとても大事なことです。一人遊びを十分経験しないで友達と一緒に遊び始めると、自分のやりたいことがはっきりわからず友達の中で、自分を表現できなくなる可能性もあります。

一人遊びから友達の中へ

幼稚園でこんなことがありました。Aちゃんは4歳で入園しました。入園当初より、友達から「Aちゃん遊ぼう」と誘われていつも友達と一緒に遊んでいて、一人で自分の好きな遊びをしている時があまりありませんでした。ところが、年長になった5月ころ、突然登園を渋るようになりました。原因を探してみると、友達との遊びの中でやりたくないことをイヤと言えず、自分のやりたいことができなくなったためです。

幼稚園ではAちゃんが自分のやりたい遊びが十分できる時間を確保するようにしました。Aちゃんは登園するとすぐ自分のやりたい遊びを始め、一人で遊びを楽しんでいました。しばらくして、友達が誘いにきました。「今はこれをしたいから遊べない」とはっきり自分の思いを友達に伝えられるようになりました。

いつ、Aちゃんが友達との遊びをもとめるようになるかと楽しみにしていたところ、一カ月経った頃、自分から友達が遊んでいるところに行き「仲間に入れて」と言って遊びに入って行きました。その後、Aちゃんは遊びの中で、自分の意見を言ったり、友達の思いを受け入れたりして、友達の中で自己発揮するようになりました。

このことから幼児の成長には一人遊びがとても重要なことが分かりました。お子さんの成長をもう少し、ゆったりとした気持ちで見守ってあげましょう。また、一人で悩まず、幼稚園の先生に相談してみるのもいいでしょう。(鈴木)

Question

どうして友達を噛んでしまうのでしょうか

1歳10ヶ月の次男が、保育園で友達のことを噛んでしまうと言われました。家でも6歳年上の兄のことを噛むことがあります。私は仕事が忙しく、父親が送り迎えをしています。

Answer

1歳10ヶ月では、まだ言葉で思うように自分の感情や不満を表現することができません。また、善悪の区別が分からないので自分をコントロールすることもできません。自分の衝動をそのままストレートに出してしまう手段としてガブリと噛んでしまうのでしょうか。噛むことが“何かを伝える手段”となっているようでしたら、今までの子育てを振り返り、愛情あるかかわりを心掛けましょう。

感情表現を具体的に

2番目の子どもにとって、兄がお手本になります。また、保育園では知らない人ばかりで、言葉で十分表すことができない気持ちや、注目してほしいという気持ちなどが“ガブリ”という形で出ているのかも知れません。子どもの様子をしっかりと見て、何が嬉しいことか、嫌なことはどんなことなのかお母さんも感じてほしいと思います。子どもが嬉しそうときには、お母さんも共に喜んであげましょう。お母さんは、仕事から帰ったら、できるかぎりスキンシップをして、嫌なときの感情表現は「イヤ！」と言えるように噛む方法ではない伝え方をていねいにかかわりながら伝え、お兄ちゃんにも協力してもらいましょう。

親子のふれあいを

お母さんの膝に抱っこして、ゆつたりと絵本を読んであげるなど、愛情を伝えてあげましょう。抱き締めたり、ほづりしたりして「だいすきよ」としっかり伝えましょう。6歳上のお兄さんも弟に対して思いやりをもって一緒に遊んだり、楽しく過ごすときを多くもてるように工夫しましょう。お母さんの帰りが遅い時は、特に留守番をしているお兄さんに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えるようにしましょう。弟はお兄さんとお母さんの温かいふれあいを見て安心するようになるでしょう。(田中)

Question

喜んで通っていた保育園を嫌がるようになってしまいました

今年から保育園に通っています。はじめは喜んで行っていたのですが、このところ、「行きたくない」と言っています。
理由を聞くと、「**ちゃんがたたく」「**ちゃんが遊んでくれない」と言います。いじめられているのか心配です。
(4歳・男児)

Answer

はじめて保育園に行き始めたのに、このようなことを聞かされては心配ですね。はじめがひどくなったら…、登園拒否になったら…、などと考えるかも知れませんね。今まで夢中で皆と遊んでいたお子さんも、保育園生活に慣れるに従って周りのことが少しずつ見えてきたのでしょう。

まず、お子さんの話をよく聞いてあげましょう

新しい環境の中で頑張ってきたので、少し疲れているのかも知れませんね。初めての集団生活で自分の思い通りにならないこともあったでしょう。お母さんがゆったりとした気持ちになって、お子さんを抱っこして「そうなの。それはいやだったね」と聞いてあげることで、お子さんの気持ちはずいぶん安らぐことでしょう。

お母さんに自分の気持ちを伝えられるということは、お子さんとのいい信頼関係ができていくということです。

けんかをするなかで社会性も育ちます

この頃の子どもたちは、まだそれほど口が達者でなく、言葉では十分に気持ちを伝えきれず、たたいたり、つついたりすることが子どもにとってはスキンシップであったり、関心を示す合図だったりします。それを“いじめられた”とってしまうこともあるでしょう。

けんかをしていく中から、どうしたら友達と仲良く遊べるのか、自分のことを分かってもらえるのかを学んでいきます。そして、子ども社会のルールができていくので



自分のことを受け入れてもらえると、他の子のことも受け入れられるようになっていきます。幼児期にこのような経験をたくさんしていくことがとても大切なことです。

何日も続くようでしたら、担任の先生に相談して、援助してもらうことも大切なことです。
(村上)

Question

幼稚園でも落ち着きません

4歳児で4月に2年保育で入園しました。家でも走り回っていますが、幼稚園でも落ち着かず、イスにじっと座ってられないようです。どのようにしたらいいのでしょうか。

Answer

入園してしばらくは見守ってあげましょう

幼稚園に通うほとんどのお子さんが3歳か4歳で、初めての集団生活を経験します。いつも見守ってくれたお母さんや家族と離れ、知らない先生やお友達と一緒に生活が始まったばかりです。見ただけでは分からないかも知れませんが、実はとても緊張して生活しているのです。

落ち着かないのは緊張の現れという場合もあります。幼稚園で元気なお子さんが、お家ではあまり動かず夕食後すぐに寝てしまうというお子さんもいるのです。

あせって「幼稚園では静にして先生のお話を聞かなくちゃだめよ！」と叱りつけても逆効果です。幼稚園で頑張ってきたのですから、お家でやさしくしっかりと受け止めてあげましょう。

お家の方とゆっくり過ごしましょう

家庭で、お子さんの話をじっくり聞いてあげたり、多少の甘えも少しの間は受け入れてあげてもいいと思います。ただ、日常的に落ち着かないように感じていらっしゃるならお子さんとじっくりと過ごす時間を確保してあげることも大事なことです。

例えば、お子さんを膝に抱いて絵本をじっくりと読んで聞かせるとか、「一本橋コーチョコチョコ」「げんこつ山のタヌキさん」など手遊びを1対1で遊ぶなど、お子さんの興味に応じた遊びを一緒にやってみてもいいのです。その中で、「私はあなたのことがだいすきなよ」という気持ちを言動やスキンシップでお子さんに伝えるようにし、お子さんにとって心地よい時間になるようにするとよいでしょう。

ただ、5歳児の集中できる時間が15分位と言われています。テレビやビデオ、ゲーム等ではなく、家族の人たちと一緒に楽しい時間がもてるようにしましょう。気持ちも安定して落ち着いてくると思います。(林)

Question

幼稚園での様子が信じられません

5歳の男の子です。家庭では言うこともよく聞き、とてもいい子なのですが、幼稚園での息子は、友達を噛んでしまったり、落ち着きがなく身支度もなかなかできなかったりと言うことです。とても信じられないのですが……。

Answer

幼稚園の先生から聞かされる内容が、家庭での様子とあまりにも違っているとしたら信じられないと思います。しかし、大人でもいろいろな側面を持ち、違った場面で違った人柄を見せることがよくあります。お子さんの姿が家庭と幼稚園で違うということはよくあることです。しかし、どちらの場面でも何かの片鱗を見せていることがあります。

幼稚園の先生にお願いして、参観させてもらい、ご自分の目で確かめてみるのめよいと思います。参観の仕方については事前に相談し、先生がお子さんをどう理解しているのか、お母さんの疑問や思いを伝え、お子さんのことについてよく話し合われるとよいと思います。

家庭は我がママが言えるところ

お子さんは家庭でだだをこねたり思いっきり甘えたりしていますか？

お子さんによっては、お母さんに喜んでもらえる子どもになろうとして、一生懸命お母さんに対して気を使っていることがあります。

そのような場合の子どもは、家庭での緊張を幼稚園で解消している場合があります。特に、友達に対して攻撃的になったり、友達と心ゆくまで遊べなかったりすることがあります。このよ

うな時、一番苦しんでいるのは子ども自身かも知れませんね。友達と一緒に仲良く遊びたいのに、自分をコントロールできず、押さえていたものを友達にぶつけてトラブルになり楽しく遊ぶことができなかったり、仲間に入れなかったりするのです。

以前出会った子どもに、もうすぐ就学時検診という頃になっても、いつも指しゃぶりをしている子どもがいました。状況を判断して発言できるほどの子どもでしたが、登園時や降園時の身支度もなかなかできず、自分勝手な行動が目立ちました。友達に注意されると友達をたたいたり、蹴っ飛ばしたりするのです。お母さんは一生懸命子どもの話を聞いてあげているように見えたのですが、注意深く見ていると子どもの思いよりもお母さんの思いが強いように感じられました。

5歳は自立に向かう時期です。お母さんの思いを押し付けていないか、お子さんの思いをどこまで共感しているか、お子さんとのかかわりをチェックしてみましょう。お母さん自身も肩に力が入っていませんか。その力がお子さんにばかり向かっていないでしょうか。肩の力を抜いて見るのもいいですね。(高橋)



Question

幼稚園にいくと乱暴になって困っています

4歳の男の子です。家にいる時はおとなしいのに、幼稚園に行くと、どうも蹴ったり、投げたりして乱暴するらしいのです。他の保護者から「乱暴な子」と言われ、困っています。

Answer

子どもにとって、集団に入ることは大変なことなのです。お母さんの知らない一面が見られることもあります。入園したばかりで他の保護者より、お子さんについて、乱暴な子などと苦情を言われることは大変つらいことですね。

幼稚園では、どんな状況なのか担任の先生に相談してみましょう。また、お子さんの幼稚園での生活ぶりを見せてもらうのもいいと思います。お母さんとしては、怒りたい気持ちが一杯でしょうが、その前に子どもの気持ちになってみましょう。

はじめての集団生活

幼稚園でのお子さんは、周りに子どもがいるということが、面白くて、うれしくてしょうがないのでしょうか。かかわりたいがどうやってよいのか分からなくて、手や足が出てしまうのではないのでしょうか。このような時には「一緒に遊ぼう」「いれて」など相手に自分の気持ちを伝える方法があることを教えましょう。また幼稚園では、相手が泣いている姿を見せるなどして知らせています。

先生（親）に自分のことを注目してほしい

自分のことをかまってほしいという気持ちで目立つ行動をすることがあります。先生（親）にかかわってほしい感情が乱暴するという行動を生み出すこともあります。このような時には、子どもとスキンシップをしたり、優しく話しかけたりして、愛情あるかかわりを心掛け、欲求を満たしてあげましょう。

気持ちのモヤモヤ

家ではおとなしい子どもさんということですが、お母さんの前でいい子にしている欲求不満を集団の中で発散しているのかもしれませんが。家でのさまざまな出来事やお稽古事での緊張感や気持ちのモヤモヤを発散する場合があります。

『お母さんだってぼくのことぶったりするじゃん』

日頃から体罰でのしつけを受けていると、この子にとって乱暴することで、相手を自分の思うようにしたいという行動に出たりする場合があります。生命の安全にかかわる乱暴については、しっかりと分からせ改善しましょう。（原）

Question

家ではおとなしいのに保育園で友達に乱暴ばかりしています

この4月から保育園に入園した4歳の男の子です。最近保育園で乱暴が目立つと先生から言われました。家では、ブロックが好きで静かに遊んでいることが多いので信じられません。一人っ子なので、父親が我がままにさせたくないと厳しく育てました。親類などに出掛けても、「しっかり挨拶ができて良い子ね」とほめられるほどですが、友達と仲良く遊べるにはどうしたらよいですか？

Answer

お家ではおとなしいのに心配なことですね。友達と仲良く遊んで欲しいというお母様の思いはよく分かります。でも、お子さんにとって初めての集団生活。一人っ子と言うことで今まで大人に囲まれ、同年齢のお子さんたちと触れ合う機会が少なかったのではありませんか。保育園生活に慣れてきて、友達に関心をもち始めたのでしょう。焦らず、保育園とも連絡を取りお子さんの様子をじっくり見つめてみましょう。

幼稚園・保育園は友達とのかかわりを学ぶところ

保育園や幼稚園という集団生活に入ることで、様々な体験を通し順番や約束を守ったり、時にはやりたいことを我慢したり等、友達とかわるために必要なことを学ぶことができます。家でじっくり遊ぶことのできたお子さんです。保育園の様子を保育士さんによく聞くと同時に家での様子を伝え、保育士さんとの信頼関係を深めながら、友達と楽しく遊ぶことができるよう、お子さんを見守ることが大切ではないでしょうか。

素直に自分を出せる親子の触れ合いを

お子さんは一人っ子ということでご両親から愛され期待もされる中、お父様の思いもあって厳しく育てられた様子。時にはお父様とキャッチボールなどして一緒に遊んだり、ひざの上へのせ絵本を読み聞かせるなどしてお子さんとはじっくりかわるのもよいでしょう。

お母様もお仕事で今までのようにかかわることが少なくなった等、生活の変化で見えないストレスとなっていないですか？ お子さんの乱暴な行動となって表出しているのかも知れませんね。厳しく「～しなさい」という前にまずお子さんの思いや行動を受け止めてあげましょう。「～ちゃんはどうする？」などと本人に考えさせたり、その行動をほめて自信を持たせたりして、安心して自分を出ることができるよう心掛けるのも一つでしょう。（鈴木）



Question

もうすぐ幼稚園です。内弁慶なので登園拒否しないか心配です

息子は、この春3年保育の幼稚園に通い始めました。内弁慶なので、家では威勢がいいのですが、外では緊張しているようです。これから、機嫌よく通ってくれるか心配です。登園拒否にでもなればどうすればよいのでしょうか。

Answer

緊張はだれもが経験

初めての集団生活の経験、新しい環境で新しい挑戦を始めるのです。緊張はだれもが経験するものです。これから幼稚園で行われる様々なことから、3歳の男の子にとって緊張の何物でもありません。家庭では、お母さんと一緒に過ごしながら元気だった息子さんも、幼稚園では不安がいっぱいなのです。子どもの不安を受け止めながら優しく見守ってあげたいと思います。

子どもの様子をよく見る

新しい環境に慣れる様子は、子どもによって全く違います。幼稚園から、帰ってくると気難しくなったり、泣き虫になったりと今までとは違った行動が見受けられることがあります。また、通園がスムーズで大丈夫と思っても2~3週間してから「いやだ」と言い出すこともあります。慣れるどころか、我慢しきれなくなったということもあります。

よく話を聞いて、不安を取り除いてあげましょう。「どうして、ボクだけ置いてお母さんは帰ってしまうのだろう」「寂しいな」「早く迎えに来てよ」など子どもの気持ちが伝わってきて胸が痛くなります。子どもの気持ちに共感し受け止めて行きたいものです。



我慢しているサインを見逃さない

本当に行きたくないのを我慢していると、登園前に頭痛がしたり腹痛を起こしたりすることがあります。また、帰宅後、食欲がなくなったり、疲れやすくなったり言葉にならないサインが見受けられることもあります。夕方、食事して、風呂に入って早く眠るなどで解消する場合は心配ないと思います。しかし、症状が続くようだったら園の先生と連絡を取ってみましょう。

お母さんが子離れしましょう

お母さんが神経質になると、かえって子どもの自立を妨げることになります。次の日も行きたくなるような楽しい話題を家族みんなで話すようにしましょう。また、子どもの性格を内弁慶だとか固定化して考えず、子どもが自ら一歩を踏み出せるように、よく認めてほめて自信をもたせてあげましょう。(樋口)

Question

一日中泣いて、園になかなか慣れません

弟が生まれる月に、長女を3年保育で保育園に入園させました。大きな声で泣くことはないのですが、部屋の隅で友達と遊ぶこともなく一日中シクシク泣いています。先生はとても優しく目をかけてくれるのですが、うちの子もただけどうして泣くのか気になります。他の子どもは毎日笑顔で保育園に行くのに…。それを見ると益々不安になります。

Answer

初めてのことばかりで不安がいっぱい

知らない場所、知らない人、知らないことばかり。みんな初めての経験で不安になったり、戸惑ったりするのは当たり前です。

「お母さんと一緒にいられない保育園には行きたくない」「お母さんと離れたくない」と泣くのもごく普通のことです。お母さんがいない事など今まで考えたことなどなかったのですから不安でいっぱいなのです。

また、お姉さんになることも受け入れたくない原因の1つではないでしょうか。弟が生まれるからと母親の都合で子どもに無理をさせていませんか。子どもの心に目を向け、不安な気持ちを分かってあげましょう。

泣くことでお姉ちゃんになろうとしている

初めての子は、どうしても手をかけ過ぎたり、言葉をかけ過ぎたりしがちです。手をかければかけるほど「どうして出来ないの」「どうしてわからないの」と子どもがやろうとする前にやってあげてしまい、気がついてみると親の指示を待つようになっているかもしれません。

子どもにとって今まで何でもお母さんがしてくれると思っていたのが、今度はお姉さんになるのだからといって「一人でちゃんとやりなさい」と突き放されてしまったらどうしていいのか分からなくなってしまいます。泣くことで一生懸命訴えていたのでしょう。

また、お母さんの期待に応えたいと思っていたのかも知れません。お母さんとしては上の子を園に預ければ楽だし気持ちのゆとりも出来ると思ったのでしょうか。その選択は今まで以上に上のお子さんに対する心配りが必要だと思います。

子どもの気持ちを受け止めましょう

泣いてしまうことを責めるのではなく、泣いても頑張って園に行く子どもの気持ちをたくさんほめてあげましょう。

「どうしてなくの。だれも泣いてないでしょ！」なんて言わないで「泣いちゃったの。よく頑張ったね」と優しく受け止め、しっかり抱き締めてあげましょう。そして誰よりもあなたの事が好きで大切に思っている事を話してあげましょう。(齊藤)

Question

幼稚園で集団に入れませんが

4歳男児で幼稚園に入って1ヶ月たつのですが、まだお集まりの時に集合することができないので心配です。我がままに育ててしまったためなのでしょう。家でできることを教えてください。

Answer

皆が集まっているときに、一人で遊んでいることを心配されているのですね。まずは心配な気持ちを担任の先生に相談することです。担任の先生はお子さんについてよく様子を観ていて方策をお持ちかもしれません。また幼稚園から家庭に対して協力や願いがあるかも知れません。

少しの成長でもお子さんと共に喜びましょう

入園して1ヶ月位はまだ不安が一杯の時期です。集合する時に皆と一緒に行動しない子ども達もたくさんおります。幼稚園に喜んで行くようでしたら、「先生と滑り台で遊んだの」と子どもが言ったときは、「先生と遊んだの。よかったね」と担任の先生と一緒に遊んだ喜びを共感しましょう。担任の先生とのつながりをもてるように受け止めてあげましょう。

先生に好きな絵本を他の子と一緒に読んでもらったり、大勢の友達がいるところでも安定して過ごせるようになってきたりするまでは、お子さんによって様々です。友達にも抵抗がなくなってくると、集まりも平気になってくるものです。

また、集合していなくても皆と同じ部屋にいて気持ちが参加していたり、他の子ども達が楽しんでいる様子を傍観して共に心を動かしている場合もあります。お子さんの集合しない今の状況を十分汲み取り、可能性を信じてあげましょう。

家庭では楽しくけじめある生活をしましょう

食事の時間になっても「まだ遊びたいから」ということを許したりしてはいないでしょうか。遊びに熱中しているからと言って、寝る時間なのに夜遅くまで遊びを許してはいないでしょうか。

子どもの意志を尊重するとして、大人が判断すべきことを子どもにさせるのではなく、大人が判断してけじめある生活を身につけさせましょう。

また、お母さんと一緒に歌を歌ったり、お話を聞いたりすることの楽しさを味わわせてあげましょう。お母さんとの楽しい経験が幼稚園生活とつながっていくのです。

(原)

Question

友達がいじめるから幼稚園に行きたくない

年長組になって2か月、友達がいじめると言って、幼稚園に行きたがりません。その友達は活発で何でも自分の思い通りにさせるらしく、うちの子がやりたくないことも無理にやらせ、「イヤダ」と断ると、怒り出してしまおうそうです。普段お母さんともよく話しますが、子どものことについては、言いにくく、そのままにしています。

Answer

いじめられているのか事実確認を

幼稚園でよくお母さんから相談受けるのが「友達にいじめられる」ことに関してです。親としてはすぐにでも解決してあげなくてはとおもうのは当然のことです。お母さんが幼稚園に行って子どもたちの遊んでいる様子を見ることによって、いじめられているのか、友達とぶつかり合っているのか見極めることができます。いじめかいじめでないか分かると安心です。

その上で、幼稚園と連携を取りながら子どもを見守って行きましょう。まずは幼稚園の先生に相談することですね。

社会性の発達とのぶつかり合いの積み重ね

4～5歳児は、友達と遊ぶことが楽しい反面、まだまだ自分中心に考えてしまう時期です。自己主張することは大切なことです。子どもはお互いに自分の気持ちを



をぶつけ合いながら社会性を身に付けていきます。そして、相手には相手の思いがあることを知り、相手の思いも受け入れないと友達と楽しく遊べないことに気付いていきます。

このことは、教えられて身に付けられるものではありません。体験してこそ身に付いていくものです。友達とのぶつかり合いや「けんか」の繰り返しの中で社会性が育まれていきます。

『くやしかったね』と子どもの気持ちを受け止めて

「子どものけんかに親が口をだすな」と言われているのは、子どもの成長にとって大切な体験を奪ってしまうからです。しかし、楽しいはずの幼稚園でけんかの繰り返しでは子どもはつらい思いや悲しい思いでいっぱいになるでしょう。

親ができることは、子どもがつらい思いをしているときにギュッと抱き締めてあげることです。「いやだったね。くやしかったね」と子どもの気持ちを受け止めてあげること、子どもは勇気と安心感をもってまた立ち向かっていけるようになるでしょう。(鈴木)

Question

どんな幼稚園がいいの？

2歳の女の子で、初めての子どもです。もうすぐ幼稚園に入れたいと思っています。近所の子どもたちはほとんどの子が近い幼稚園に通っていますが、本当に同じ幼稚園でよいか迷っています。どんな幼稚園がいい幼稚園なのか。

Answer

初めてのお子さんですと、お母さんにとってもすべてが初めてのことで不安でいっぱいになりますね。子どもにとって初めての社会と触れ合う場が幼稚園となります。お母さんが納得できるような幼稚園選びをしましょう。

できれば、お母さんと一緒に徒歩で通える距離で、お母さんの手作りの弁当で、帰宅後も幼稚園の友達と遊べる時間があるところがいいですね。

お母さん自身が見て歩こう

最近では公立、私立にかかわらずいろいろなやり方で幼稚園を公開しています。直接幼稚園を訪ねたり、子どもを通わせているお母さんに聞くなどして、お子さんと一緒に見学させてもらい、園児たちの様子を見たり、幼稚園の先生と話をして、肌で感じてくるのが一番です。

中には、子どもと一緒に遊ばせてくれる機会を設けているところもあります。常に気を付けていると、いろいろな情報が入ってきますので、できるだけ出掛けて行くことをおすすめします。

先輩お母さんに聞こう

以前、或いは現在幼稚園に通わせているお母さんに質問してみるのもよいでしょう。知り合いがいなければ、目的の幼稚園の帰りの時間を見計らって出掛けて行き、様子を見たり、迎えに来ているお母さんに聞くことも一つの方法です。

一言で“いい幼稚園”と言ってもそれぞれ価値観が違いますから、何を以て“いい幼稚園”と言っているのかを確認する必要があります。自由な雰囲気や伸び伸びとした保育をいいと言っているのか、文字や数の勉強をすることをいいと言っているのか、あるいは躰が厳しいことをいいと言っているのか。

先日、「幼稚園から毎月もらう“幼稚園だより”を見せたらこの幼稚園に決めた」というお母さんがいました。判断するための資料を集めてよく読んでみるのも決め手かも知れません。(高橋)

Question

友達がほしいためか乱暴な態度をとってしまいます

年子で3人きょうだいの真ん中の3歳になったばかりの女の子です。公園や児童館へ連れて行くと、自分から同じ年くらいの子に近づいて手で押してしまいます。友達になりたい思いからしてしまうようです。母親の私は謝ってばかりいます。

Answer

きょうだい以外の子ともと遊ばせたいと思って、公園や児童館など子どもの集まる場所に積極的に連れていかれることは大いに結構なことです。ましてや、下に手のかかる赤ちゃんもいながら、外へ出して行かれるお母さんの姿はとても素敵です。子どもはある年齢になりますと、子ども同士で遊ぶことに興味をもち始めます。そこで、友達になりたいと近づいていくのも当然のことです。しかし、いつも一緒にいる相手がお兄ちゃんだということで、少々乱暴な面が身につけてしまったかも知れませんね。お友達のつくり方やかわり方を、教えていきましょう。



友達づくりはお母さんも一緒に

まず、日頃の生活の中で、近所の方や友達と話したり、遊ぶことを通して優しく接していくことを教えていかなければなりませんね。いくら遊びたいと思っても、近づいていっていきなり押してしまえば相手が怖がって逃げてしまいます。優しい言葉がうまく言えないようでしたら、お母さんがお手本になってお子さんの言葉を代弁してあげるとよいでしょう。例えば、「一緒に遊ぼうか？」「いーれーて」「これかしてね」「はいどうぞ」等。また、そばにいる保護者の方にもわが子が遊びたがっていることを伝えていきましょう。お母さんが「そっと優しくね」と言葉を添えて教えましょう。たとえ相手の子が一緒に遊んでくれなかったとしても「ちょっと待っていきましょうね」と様子を見ることも大切なことです。たたいたり、押したりと乱暴な行動をとってかわるのではなく、相手を尊敬したかわり方を、3歳の今からきちんとらせていきましょう。

兄弟の遊び方を見直してみましょう

家の中での遊びはどのような状態ですか。時にはお母さんも一緒に遊んであげ、社会性を身につけさせていくとよいでしょう。ままごとでもお店屋さんごっこでもお母さんの創意工夫で楽しい遊びを展開してみてください。「叩いたらイヤ！」とか「おはなしして！」など相手の立場に立った言動を遊びながら言ってみましょう。相手がお母さんだとどんどん話せるようになるでしょう。(梶原)